



がっこう  
学校だより

鈴鹿市立河曲小学校

電話 059-382-0268

Fax 059-382-7851

<https://www.edu.city.suzuka.mie.jp/eskawano/>

めざす学校像 < 仲間とともに、愛と絆を育む学校 >

かわっこ

発行者

校長 大西 真人

令和7年7月14日発行 No.4

## 通知表（あゆみ）の内容、様式について

— 通知表は、市内全ての小学校で統一した様式です。 —

がくしゅう

### 【学習のようす】

子どもたちが生きていくこれからの社会は、情報化やグローバル化等が一層進み、変化が激しく、先行きが不透明で予測困難な時代であると言われています。このような時代をたくましく生き抜くために、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動する力を育てていくことが求められており、小学校では2020年度から改訂された学習指導要領に基づいた授業が実施されています。

学習指導要領では、子どもたちに身に付いた力（新しい時代に必要となる資質・能力）を、全ての教科において、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価しています。これに伴い、通知表（あゆみ）の「学習のようす」は、各教科を「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点で評価しています。

例えば国語科では、

漢字の書き取りテストで間違った漢字がたくさんあった。→「知識・技能」の評価としては △

テストで間違った漢字を自主的に何度も練習できた。→「主体的に学習に取り組む態度」◎ または ○

1つの観点には、音読、作文、漢字、読み取り、書写など、様々な学習活動の結果が含まれています。

（例）3、4年生

3学期は、年間を通した評価になります。

学習のようす		1学期	2学期	3学期
国語	日常生活に必要な知識や技能を身に付けるとともに、言語文化に親しんだり理解したりすることができる。	1段階「知識・技能」	2段階「思考・判断・表現」	3段階「主体的に学習に取り組む態度」
	筋道立てて考える力や量かに想像したりする力を養い、自分の思いや考えをまとめることができる。	2段階「思考・判断・表現」	3段階「主体的に学習に取り組む態度」	
	言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、思いや考えを伝え合おうとしている。地域の特色と人々の生活との関わりを理解するとともに、情報を調べまとめることができる。	3段階「主体的に学習に取り組む態度」		

◎…よくできる ○…できる △…もう少し

※ 3段階で評価します（1年生の1学期と2学期は○、△の2段階）。

※「特別の教科 道徳」、「総合的な学習の時間（3年生以上）」、「外国語活動（3、4年生）」は、文章記述で評価します。

せいかつ

### 【生活のようす】

「生活のようす」についても、指導要録（お子様の指導の課程及び結果の要約を記録したもの）に記載する「行動の記録」の項目に合わせての評価となります。

（例）3、4年生

生活のようす	1学期	2学期	3学期
安全に努め、礼儀正しく節度のある生活をする。			
心身の健康に気を付けたり、運動習慣を身に付けたりして、元気に生活することができる。			

○…できる △…もう少し 全学年、2段階で評価します。全ての項目に○ または △が付きます。

❖ 7/15(火)、7/16(水)、7/17(木)はあゆみ渡しです。配付されるあゆみをご覧になって、お子さんの1学期の成長を認め、2学期に向けて励ましていただきたいと思います。

## あゆみについて みかた こんな見方してませんか？

- ① 「よくできる」「できる」「がんばろう」の<sup>かず</sup>数だけで<sup>いっきいちゆう</sup>一喜一憂するのはどうでしょう。

「よくできる」がいくつ、「できる」がいくつ、「がんばろう」がいくつといった<sup>ひょうめんてき</sup>表面的な<sup>かず</sup>数だけを<sup>とら</sup>捉えて<sup>しっせき</sup>叱責したりするのではなく、1つ1つの<sup>ひょうか</sup>評価と<sup>てん</sup>こどもががんばった点とを<sup>むす</sup>結びつけて<sup>ぐたいてき</sup>具体的にほめたり、<sup>はげ</sup>励ましたりしたほうがよいと思います。

- ② <sup>どうし</sup>むやみに<sup>ほか</sup>きょうだい<sup>こ</sup>同士や<sup>くら</sup>他の子と<sup>くら</sup>比べるのはどうでしょう。

「〇〇さんは『よくできる』がいくつもあるのに。それに<sup>くら</sup>比べて・・・」  
<sup>た</sup>他の子と<sup>くら</sup>比べても、<sup>へん</sup>変な<sup>れつとうかん</sup>劣等感・<sup>ふしんかん</sup>不信感を持たせたときの<sup>おお</sup>マイナスの<sup>おも</sup>ほうが大きいと思います。

- ② 『生活のようす』の<sup>ひょうか</sup>評価は<sup>がくしゅういじょう</sup>学習<sup>たいせつ</sup>以上に大切です。

「<sup>べんきよう</sup>勉強さえ、<sup>いっしょうけんめい</sup>一生懸命やってくれば・・・」と<sup>たしやう</sup>つい<sup>た</sup>多少<sup>わが</sup>わがままであっても、  
<sup>きほんてきせいかつしゅうかん</sup>基本的生活習慣がついていなくても、<sup>おおめ</sup>大目に<sup>み</sup>見てしまいがち。特に<sup>とく</sup>学年が<sup>がくねん</sup>進むにつれ、  
<sup>こんご</sup>今後ますます<sup>むず</sup>難しくなってきます。<sup>もんだい</sup>問題が<sup>お</sup>起こらないように、<sup>た</sup>絶えず<sup>せいかつ</sup>こどもの生活のよう  
すには、<sup>き</sup>気を<sup>くば</sup>配ってほしいと思います。

- ③ <sup>ひょうか</sup>あゆみの<sup>ぜったいてき</sup>評価は<sup>ぜったいてき</sup>絶対的なものではありません。

こどもは<sup>ひ</sup>日ごとに<sup>か</sup>変わり、<sup>せいちやう</sup>成長しています。あゆみはこどもの<sup>じつたい</sup>実態を<sup>し</sup>知らせるだけでなく、  
<sup>ちやうしよ</sup>長所を<sup>の</sup>伸ばし、<sup>たんしよ</sup>短所を<sup>なお</sup>直していくというあくまでも<sup>ぜんしんてき</sup>前進的な<sup>やくわり</sup>役割を持つものなので  
す。しかし、どうしてもあゆみをこどもの<sup>か</sup>価値<sup>ち</sup>づけを<sup>おこな</sup>行うものとして<sup>う</sup>受けとめられている  
<sup>かた</sup>方も<sup>おお</sup>多いのではないのでしょうか。そしてその<sup>けっか</sup>結果のみに<sup>とらわれ</sup>とらわれ、こどもをいつまでもそ  
のような<sup>め</sup>目で<sup>み</sup>見ることは、やる<sup>き</sup>気をなくさせてしまうことになりがちです。それでは<sup>せいちやう</sup>成長  
の<sup>さまた</sup>妨げにしかありません。あゆみはこどもの<sup>ぜんのうりよく</sup>全能力、<sup>ぜんじんかく</sup>全人格を<sup>ひょうか</sup>評価したものではありません。  
せん。このことを<sup>とら</sup>はつきりと<sup>きやうし</sup>捉え、<sup>いえ</sup>教師と<sup>かた</sup>お家の<sup>きやうりよく</sup>方が<sup>も</sup>協力してこどもを<sup>た</sup>盛り立て、<sup>はげ</sup>励ま  
してあげる<sup>きも</sup>気持ちこそ、こどもにとって、<sup>こんご</sup>今後の<sup>はってん</sup>発展の<sup>だいじ</sup>大事な<sup>もと</sup>基になると<sup>おも</sup>思うのです。

❖ <sup>こんねんど</sup>今年度より、<sup>ひやうし</sup>あゆみの表紙については、<sup>がつき</sup>1学期、<sup>がつき</sup>2学期はありません。<sup>がつき</sup>3学期のみとなりますので<sup>りかい</sup>ご理解、<sup>きやうりよく</sup>ご協力ください。